夕刊
磐城新聞
四月十二日發行
定價 一ヶ月 金六拾五錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五六五番

天氣豫報
小名濱測候所發表
今晩も明日も北西の風晴時雨模様

四人の女（九）
津手生

お零

途端にお零に違ひないと直覺して、引返して隣の背戸に近寄ると、果してお零が藁坊主の間に半身を挟んで、不相變の青い顏してこちらを見てゐる『お零何してゐる』と一喝すると、彼女は世にもあはれな、泥濘の中に轍を深く沒して馬子の鞭を背中に受け精根のつきはてた老馬のやうなオドオドした目附をしてジッと私を見つめてゐた。私は急に射すくめられた如く感じ棒立ちになつてゐると、お零は突然兩手を鼻の所まで擧げて合掌し、目をつぶつて私を拜んだ。之を見た私はハッとして、夢中で踵を返し、裏木戸から一目散に自分の家へ飛び歸つた。

此事が有つて以來私はお零の顏を見るのが恐ろしくなつた。戸口から一歩踏み出さうとする時、お零が徳利を提げて油買ひに行く姿を見て、慌てゝ家の中へ逃げ込んだ事もあるし、遠くからお零の來るのに氣がついて路次の内に隱れたこともある。其の内お零が何處かへ行つてしまつたと云ふ噂が立つた。美濃の實家は大地主で、お零の行衛を漸く搜し當てゝ、大金を以て迎へに來たそうだと云ふ人があり、お零は親達に引取られて白粉をつけて、嫁入り仕度して人力車に乗つて中仙道を南へ連れて行かれたさうなと、見て來たやうに語る人もあつた。噂のどこ迄が眞實か知らないが、兎に角お零は私の村からゐなくなつて了つた。私は之を確めてホッと安堵したが同時にもうお零のションボリした姿を二度と見られないと思ふと、一抹の寂しさを感じ、時折お零はどうしてゐるだらうと淡い想ひに獨りふけつたものである。

○お兆さ

お兆さは其頃二十六七だつたらう。本名は假名でちやうと書くのか、或は優しい蝶の字であつたかも知れない、さはさんの略語であ

る。中學三年の折暑中休暇で國へ歸つて初めて知つた私の家の鎰の手傳ひに雇はれて來た女である。飛騨から來た木挽職の通稱吞八と云ふ男が此女を私の家へ連れて來て、身許は確かだから使つて呉れまいかと申込んだ。見るとガッチリした大女で、仕事は出來さうだけれど氣の毒に右の目が潰れて一寸飛出して居り、甚だ不氣味な人相なので躊躇したが、手不足の折柄思ひ切つて頼んだと云ふ事であつた

偶感
鈴木末吉

飄颻行市荒家郷
新松赤化蔘縮相
風霜高潔似良樹
今得小康何無障
蠻民圓滿等家庭
莫論黨派爲安寧
鷸蚌鬪爭利漁者
反省結束當協定

寄贈書目
◁ローマ字四月號（一部二十錢東京市京橋區新川二丁目二番地ローマ字ひろめ會）

梅は咲けども
好間　鈴木嘉十

○梅しろく咲けど召集また來すよ
○梅が散る窓に軍刀置きてひさし
○床の間の軍服に春はめぐり來ぬ
○召されざる身が悲しけり畦燒けど
○東風に發つ兵ねたましく歩みゐたり

山燒の夜
市川健次

向ふの水田に
下りるんか
家を越えてく
鴨のこゑ
夜なべしなさる
母さんは
くらいあかりを
さげなさる

あれな　今夜も
裏やぶに
映つて山ア
燒けてゐる

嫩草山の山燒き
辰巳和子

山の草燒き
ひろがつて
ぼうとあかるい
夜のそら
あそび呆うけて
迷ふたか
日暮れてかへる
鹿の眸に
うつつて消ゆる
揚げ花火
こだまかへすも
さみしいな
森には凝つかぬ

小鳥たち
山の草燒く
火がこわや
ゆんべ
枯草燒いたので
お山が黑うなりました
けさは
ふもとの公園に
お目々さました鹿の子も
山の
燒けあと氣がついて
首をかしげてゐるでしよか

◇◇……◎……◇◇

4月13日
△幡隨院長兵衛殺さる（慶安三）△陪審法公布（大正一二）△この日命日の人齋藤緑雨（明治三七）△石川啄木（同四五）田山花袋（昭和五）

その日
○この山の櫻はいまだ早けれど見付けて嬉し馬醉木白花　今井規淸

講談 獨髏組（どくろぐみ）
(162)　林李兵衛作　金子士郎畫

幾代の過去（三）

一氣に極めつけられて、二の句の繼げない勘藏だつた。

『それッ證人を呼べッ』

聲に應じて、下役人の一人が去つた。間もなく連れて來たのは、浪人蜷川剛造だつた。

剛造は、チラと勘藏夫婦に一瞥をくれて、

『御亭主、いゝ加減に泥を吐いたらどうだ、罪のない者を、いつまで苦しめるは可哀想ぢやないか、餘計なことのやうぢやが、拙者はあれ以來、幾代のために十日間、毎日貴公の家に詰めかけて。その一擧手一投足の、微細な點まで注意してゐた』

冷やかに云ふ剛造から、どんな證據が持ち出されるか

『俺は、始めッから貴様の仕業と睨んでゐた。が、そう云ふには、これと云ふ證據を握るまでは、相も變らず毎日のやうにお客となつて通つてゐたのだ、知らなかつたらう、丁度五六日經つてからだ、愈々貴様が下手人である、と云ふ確かな證據を握つたのだ、よく見ておけ、これだ』

云ひながら剛造は、小脇に抱へた風呂敷包を解いた。

それまでは、上州板橋の喰ひ詰め者らしい圖太さで白々しく構へてゐた勘藏だが、風呂敷包みを一目見るなり

『あッ』

と、恐怖の絶叫、戰慄のために齒の根さへ合はない有樣だ。

『これは貴様がおとゝいの晩、裏の物置きの土間へ埋めた貴様の着物だ、俺はそれを見てゐて、直ぐその後から掘り出したのだ。胸の邊に少しと、それから右の袖口に此の通りおびただしい血が附いてゐる、これでも知らぬ、存ぜぬとは突ッ張れまい、それから、此か匕首の鞘だ』

『う、う、う』

口惜しさうに口籠つて、ごう造を怨めしさうに睨みつける勘藏の頭上で

『それ、勘藏とお寅に繩を打てッ』

主膳正の下知が爆發した

△　▽

浪人、蜷川ごう造の義俠的援助と、南町奉行櫛引主膳正の明決な裁きに依つて幾代は身邊に絡まる疑惑の雲は綺麗に除かれた。

そうして、倚倖せな事には、主膳正の屋敷へ小間使として引取られ、今では娘同樣に、主膳正を父と呼んでゐる。

△　▽

幾代と、奉行の櫛引から交互に聞かされた回顧一年の涙話。

刑部は、鉛の熱湯を浴びる思ひで聞いた。

（あゝ、惡いことは出來ないもの、母子諸共、自分の斬つた油屋の乳吞兒は、現在我子であつたのか、何んと恐ろしい罪業だらう、今また、忍び込んだ奉行櫛引主膳正の屋敷が、幾代のためには、終世つくなふ事の出來ない大恩人とは、あゝ因果は廻る小車だ、俺は一體どうしたらいゝのだ、罪に腹を切つた位では濟まされぬ深い罪業だ）

心のうちに拘んだ刑部は、遂に其處に居堪らず、無言でスックと立ち上つた。

『あ、もし、何處へ』

幾代は、一緒に立ち上つてその袖にひし縋つた。

『今更、何んの面目があつて顏が合されやう、後生だ此の儘見逃してくれ』

刑部は、其の手を拂はうとしたが、幾代が泣いて放さない。

『どうぞ、刑部一生の願ひだ、此の世に居ないものと思つて、其方はお世話になつて御當家を大切に』

廣告

酒とマツイ
おでんの繁ちやん
平市田町花ノ里
電話三三三番

おでん
一平（イッペイ）
電話二六三番

磐城名物
靈峰羊羹（れいほうようかん）
小川郷驛前
平屋賣店

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主産婆 上原通子
電話二二一番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

産科
婦人科
花柳病科
井坂醫院
午前宅診
午後往診
入院應需
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

耳鼻科
咽喉科
專門
大和田醫院
平市南町一六番地
電一七〇番
入院隨意
病室完備

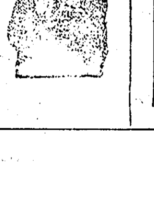
夜間診療
胃腸 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

男女學生服特賣
高嶋屋の洋服
新柄背廣
レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

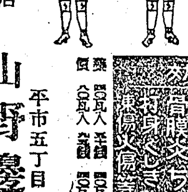
和洋
建具
家具
テーブル
椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
製作販賣
諸官衙
各學校
御用達
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學博士 金森五郎

漢方くすりは
生公華
効力本位



病は總て惡素の爲其の患部に炎症性病状を存し血液の循環が惡くなるから冷る痛れる硬くなる痛む事と思ひます此の場合直接患部に浸透吸收し病毒又は毒素を殺消し體内に有る毒素を絶ず排除又は吸收せしめて「エネルギー」の消費を補ふて細胞の活力旺盛ならしむる必要有りと思ふ此の場合漢藥の王座をしむる生公華を是非お奨め致します本藥は漢方貴藥のみ調劑せる粉末藥にしてこれに必らず玉子白味或は共に良く練合ネル布に伸して使用するのです一回々々と共の効力があらわれ非常に使用する事に付てはりあいの有る名藥です詳細は使用法にあり。
赤地に黑の文地で生公華と書いた旗の立て有るお店が特約販賣所です。
藥は能書より効力の二字が本意特約店御希望の方は本舗へ類似藥ある故必らず生公華と名指してお求め下さい。



市專賣店
山野邊藥局
平市五丁目（電呼六六八）

新車のお知らせ
斷然!!! 乗心地良い!!!
三七年型フオード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

池ノ坊
生花教授
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅舘
須藤まつの

新資格者の所得申告 期間なか二日に迫る

恩典に洩れぬやう 平税務署の希望

平税務署に於ける本年度第三種所得税の申告受付は去月一日より同十五日迄の法定期間内に於ける分の外從來の免税點千二百圓を千圓に引下げた關係から新に納税義務を生じた新資格者の爲め官衙、學校、會社、工場其他俸給生活者の集團する方面に六百枚の用紙を配り特に本年度に限り去る一日以降來る十五日迄を期間として之を受理しつゝあるが去月中從來の分を受付けた當時新規の納税義務を見越して申告濟みのものが多い爲か、既に期間が中二日の目睫に迫つたに拘らず、今十二日現在で僅に五十通に過ぎぬが、屡報の如く該期間中に所定の申告を怠る時は、保險金及び老幼癈疾に對する控除の恩典に漏れ、僅かな處で課税さるる結果となるので期日切迫の今日此點遺漏なき樣當局では望んで居る。尚ほ去月中の受付數は各人の自覺と當局の指導督勵により納税者約千六百人中千二百九十九名の多きに上り前年より三百五十五名を増加した好成績で今秋行はるる所得税調査委員選擧は前記に今回の分を併せた千四百名近の有資格者によつて行はるるわけである

歸らぬ漁船

昨夜の時化に遭ふ

四倉町の延繩船(船名其他不詳)は同町沖合で昨夜の時化に遭ひ今十三日朝に至るも歸港せず乘組九名の安否が氣遣はれてゐる(正午記)

稀有の好成績で

片倉磐城年八分配當 けふ重役會を開く

片倉磐城製糸株式會社では今十二日午前十時から重役會を開き取締役鈴木長三郞氏座長となり

一、第十一回株主總會招集及び之れに提出すべき議案に關する件

一、第十一回株主總會招集日、四月二十七日午後一時

一、昭和十二年度後期(自昭和十二年十月一日至十三年三月三十一日)期間の營業報告書 財產目錄 貸借對照表 損益計算書並に利益金處分案承認の件

一、取締役全員任期滿了に付改選の件

を附議したが今期利益金は六萬二千七百八十八圓十三錢內建物、機械器具銷却一萬五千圓を差引き當期益金四萬七千七百八十八圓十錢で配當年八分と云ふ同社稀有の好成績を示した

新兵さん徴募檢査

各町村の日割決る

非常時を背負つて立つ新兵さん達の徴募檢査は左記日割で(每日午前七時開始)執行さるるので、市役所町村役場では目下その準備に忙殺されてゐる

平市四月二十四、五日檢査人員二二八(第一小學校)石城郡六月十日—十二日、同五三四(植田小學校)六月十四日—二十二日間一、四六二(平第一校)(括弧內受驗者)=△六月十日上遠野(六一)田人組合(五五)川部(三八)△同十一日山田(二八)渡邊(二八)泉(四八)植田(六五)△十二日入遠野(四四)勿來(六一)錦(五九)△十四日永戸組合(四四)大浦(五三)神谷(五二)△十五日玉川(三〇)下小川組合(六一)赤井(七三)△十六日內郷(一一八)豐間(五〇)△十七日小名濱(九五)磐崎(七一)△十八日江名(五六)鹿島(二八)高久(三〇)飯野(四三)△十九日草野(五七)內郷寄留(一一一)△二十日三阪組合(三七)好間(一三〇)△夏井(二八)湯本(一四四)△川前(三三)大野(四七)四倉(五三)

表彰記念講演

好間村農會で

好間村農會は過般帝國農會より模範農會として表彰されたので十六日午前十時から成島技師を招聘記念講演會を開く

十七時間にして凱歌

犯人は意外！强盜男 靑沼市長邸荒し捕はる

靑沼市長邸荒しの怪盜が平署のスピード捜査により、僅か十七時間にして凱歌あがつた——昨十一日午前二時頃市內舊城跡一二平市長靑沼鉦太郎氏邸の屋根傳ひに窓ガラスをこぢ開けて賊侵入、應接間書齋等を小搜しして現金五十圓、三組洋服、時計、眼鏡、其他(合計見積價額五百圓)を窃取逃走した犯人あつた、屆出により平署では直に八卷署長以下司法總動員で搜查に當つた結果同日午後七時頃湯本町三函カフェー『よかろう』で豪遊してゐる犯人茨城縣華川村上小津田一三窃盜四犯神永吉夫(三四)を菊池部長刑事、野地刑事の一行が逮捕した、追究の結果この賊は意外にも去る九日朝茨城縣大津町海產物商永井酉松(五六)方に侵入、永井夫婦を縛りつけ短刀で脅かして現金十七圓餘を强奪逃走した外湯本町醫師野村智親方から現金百圓とレコード、古河鑛現場員淺見行雄方からこれ亦百圓を窃取したことを自白した

役者あがりの神永

犯人神永は去月二十九日北海道釧路刑務所を四年の刑を終へて出獄後茨城縣から郡內に入り込んで荒し廻つてゐたもの

同人は以前裁判劇大山龜明一座にあり、女形や司法主任役をやつてゐたこともある、今は捕はれの身となつて反對に伊藤司法主任から調べられてゐるその姿に署員迄も苦笑してゐる

共犯？捕る

贓品を所持す

尙神永の盜んだ贓品を所持してゐた双葉郡廣野村生れ前科二犯原岡淸一(四六)は共犯の嫌疑によつて搜査中昨十一日夜十時頃平驛前を徘徊中捕はれた

湯本で贓品を變造

=犯人が捕はれる迄

屆出と同時にサッと管內に非常線をはつた平署ではその手口が前記茨城縣荒しの强盜に極似してゐるところから大ものと睨み搜査の手を延ばした、かくするうち夜明け前平から湯本に貸切りを飛ばした三十五、六の洋服男あるを聞き込み、更に湯本町一帶に搜查網を張つて內偵中同町三函丹野時計店方で贓品と思しき時計を變造した男等が搜査線上に現れた結果いよいよ犯人潛伏を突きとめ遂に菊池部長刑事の一行が前記カフェーで豪遊してゐる不審男を調べた結果犯行一切を自白するに至つたもの、同署近來の大手柄である

陣中を聽く

……………(128)……………

陣中日誌淸書の爲 前線へ出られぬ不運

元平署員 生江次八君(信通)

蔣介石の長期抗戰に踊る支那兵共の勝算なきに反抗は銃後の皆樣に多大の負擔と責任とが嫁され、其の負擔と責任に堪へらるる皆樣の御骨折りの程、時々の新聞紙にて拜承仕る時只々感泣の外無之茲に御厚情御赤誠に報い奉らんには餘りに非才無力なる己れを歎くのみ、されども非才無力を以て良く皆樣の御期待の萬分の一にもそひ奉らん覺悟に有之候

然るに去る十四日我が部隊が廣德の敗殘兵討伐に出發なし候も小生は陣中日誌淸書の机上の任を與へられ其の行を共にするを得ず、又皆樣の御期待に副ふべき機會を奪はれたる形にて天は小生の武運を見放し給ひしものならんなどと皆樣の御期待にそひ得るを天に歸し居る只今に候

明媚なる抗市風景は小生に一抹の旅愁を與へ西湖畔に逍遙する支那人の姿或は湖水にボートを浮べ吟き得るらし時人佳人の姿を見受けつらん時は如何に抗市和平の都に還りたりとは謂へ戰禍未だに去り切らぬ今支那敗戰の理此處に在りの感深くなしたるものに有之大和男子と生れたる小生に誇りと安堵は與へられ候。左の和歌に似たりし句、小生の心情に有之

いみじくも我が赤き血なぞたぎる

抗州の野は平和にあれども

よしなた御推察下され度先は御報旁々御詫び迄

三月十八日

(◇)(◇)(◇)

少年を傷く

無免許貨物

北目地內の事故

市內北目町東北化學工業所のトラックを和田厚(三五)が無免許運轉同町地內を疾走中誤つて遊んでゐた同町渡邊英夫(一五)君にぶつつけ左大腿部骨折の重傷(二ヶ月)を負ひ英夫君は大河內醫院の手當を受けてゐる、トラックはその際水道共同栓物置等を破壞、和田は間もなく平署に擧げられた

天晴れ陽は溫く お花見氣分本格

寒波完全に退却

暫らく停滯して折角の花見氣分を毀して居た季節柄あるまじき寒波は、昨終日の降りを最後として今朝來天全く霽れて風駘蕩ふ方無き三春の正常に復歸して、天候に鬱勃たりしお花見氣分はけふから果然ピッチを上げ俄かの花見相談が各方面に行はれ、仕事を早目に切り上げた之等大小の團体が續々と繰り込み、銃後の愼しみを忘れぬ程度に煕々たる春の陽射しを浴びて樂しい花下の宴が園內の各所に開かれ相も變らぬお花見風景の點描を見せた

お花見心得

お祭り騷ぎ禁物 彈壓は避けるが

寬大なその取締方針

『早い花』はきのふ降り通した雨に一層急がせられ、パッとひらいて電飾美しい夜の演藝場も愈よ明晩からだ。非常時下の花見乍ら、無粹な取締りも妙でないと縣保安課で種々研究中であつたが十一日その方針を左の如く決定、各署ではこれに基いて取締ることゝなつた

一、出征家族及び傷病兵として一時歸還中乃至戰病死者を前にして徒らにお祭り騷ぎ的なことは絕對避けること

二、いかがはしい服裝行列又は特に目立つ催しはこの際避くること

三、他府縣では料理屋掛見世を嚴禁してゐるところもあるが本縣ではこれを敢て禁止せず、但し稼業婦が挑發的營業工作をもつて誘客することは取締る

その他努めて彈壓を避け國民思想に惡影響を及ぼさざる程度に於て寬大な處置に出る

一刻千金の宵を 彩る新田町の雪洞

今夜から點燈開始

軒並に花美しい若木の櫻を植えて解語の花里を一段濃艶に彩つてゐる新田町では更に今晩から道の兩側に花模樣の雪洞を點けて花見氣分をより唆る事となつたが文字通りの狹斜を夢の如く照明する官能の街の夜景と共に眞に樂宵一刻千金花のたひらを飾るに十分なるものがあらう

郵便事務

花下に扱ふ

公園へ局の出張所

平郵便局では昨十一日より二十日迄第二公園公衆電話附近に花見客の便宜を圖る爲臨時出張所を開設左の事務を取扱ふ

一、普通々常郵便物引受

二、郵便切手類の賣捌

三、風景入スタンプ押捺

取扱時間は午前八時より午後五時迄

自動車業者大會

縣下自動車協會の大會が來る二十八日植田町小學校で開かれることゝなつた最初は二十日開く筈だつたのが都合で延期されたもの、この大會は昨年喜多方で開かれた

磐中生見學旅行日變更

磐中四年生二百餘名一行は既報の如く來月九日から七泊八日の關西見學旅行をなす筈であつたが都合により十三日出發に變更した

山火事

十日午前十時頃湯本町水野谷共有林から發火、折からの烈風に煽られて飯野村上荒川地先まで燃えひろがつて消された、燒失面積約十八町歩、原因は煙草の吸殼

。。。。。。高野養蠶組合認可。。。。。。

箕輪村高野一圓を地區とする高野養蠶實行組合が此程設立を認可された

尙磐崎村藤原東部養蠶實行組合が解散された旨縣報で告示

。。。。。。平市水道委員會。。。。。。

十四日午後二時から開き四倉町水道部の水質試驗委託、不用品賣却、配水管の件附議

。。。。。。石城方面委員總會。。。。。。

十五日午前十時から內郷村磐炭淺野記念會館に開き午後一時から智山大學教授高神覺昇方の講演ある

。。。。。。平市土木委員會。。。。。。

十三日午前十時から第五小學校敷地埋立工事竣功檢查立會其他を付議

。。。。。。勿來方面委員。。。。。。

勿來方面委員の定員は五名に改正された旨縣報告示

辭令

宮城縣角田中學校教諭兼舍監　山口時二

豐巻英吉

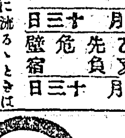
任磐城中學教諭(各通)

磐城高女教諭　野口ハナ

命愛知縣出向

十三日 (小名濱測候所發表)

滿潮 前三、一〇 後三、四五
干潮 前九、四〇 後一〇、〇〇



舊三月十三日 水曜 乙亥 先負 危 壁宿 新四月十三日

▲一白 利己主義に流るゝときは人の親しみを失ふ▲二黑 元氣十分なれば萬の事通達すべき吉日たり▲三碧 英氣を現す時は不利に陷る守成が寧ろ安全▲四綠 先へ先へと氣早りして跡の始末の付かぬ日▲五黃 氣を大きく持ち消たくあはせの心の意あるべし▲六白 隙がいありとも其にたゆまず徐々と進むべき日▲七赤 小さく企てし事も良がいの基となるべき日▲八白 旅し遊きたる德が今日に巡り廻り來るべし▲九紫 手中に入たる物も中途にげ去ることあり

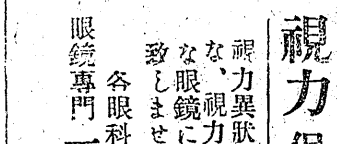
廣告

平市新川町
北川外科
電四六四

吉田眼科醫院

齒科 口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町(電話五八番)(磐田女學校前)
「入院のお需めに應ず」
(看護婦及び見習看護婦募集)



視力保全運動
視力異狀に早期檢眼明快な、視力能率增進、正確な眼鏡により視力を保全致しませう。
各眼科御用
眼鏡專門 玉屋眼鏡店
平市二丁目

御料理
お花見には是非……
ときわ
電話二二六番

◇銃後の守り◇
愛國預金
特色
當行は本預金の全額を以て新規に愛國公債を買入れます
從つて預金者各位は個々に愛國公債を御持ちになつたと同樣であります
規定のあらまし
一、御預け金は愛國特別當座預金通帳を以て何時でも出入自由であります
一、御預け入れは十圓以上何程でも御隨意
一、利率は日歩計算にて特別當座預金と同一取扱であります
◎本預金にて公債御買入御希望の方には何時にても當行より御頒ち致します
株式會社 常陽銀行平支店
電話一三〇・一六四三

おみやげには
見不知羊羹(柿羊羹)
潮の華
電話六六八
平五 泉屋